

## 新入会員 紹介

今後の抱負

### 研修会を通して向上へ

井関 健太郎

(埼玉県 / 鹿児島大学歯学部)

2011年度受講生の井関健太郎と申します。

昨年の11月に8ヶ月間にわたる講習会を終え、終わった瞬間に「これから一日一日を無駄にしないよう日々研鑽を積む」と心に誓いました。気付いたら早くも半年が経過しており、時間の経過の早さに驚くとともに、これからさらに気を引き締めて歯科治療に臨む気持ちで今現在おります。

理事の先生方をはじめ日本インプラント臨床研究会の先生方は本当に親切で、一新人相手にも本当に丁寧なアドバイスして頂き、当会に入会して本当によかったと思っております。

今後は様々な発表会、研修会を通じてインプラントについて、歯科治療全般についてさらに知識を深めて行こうと思っております。よろしくお願ひ致します。

今後の抱負

### 基本に忠実、安心で安全を！

宇田川 宏孝

(東京都 / 北海道大学歯学部)

2011年認定講習会の受講生で最年長(54歳)です。

友人たちから、「その歳で今さら専門医を目指してどうするの」という声も聞きますが、自分ではインプラントを正しく施術するなら、やはりしっかりと勉強をしたいという思いで1年お世話になりました。

勉強をされていて、基本の大切さを痛感し、思いを新たにすることも多々ありました。受講して本当に良かったと思えます。

医院は今年創立25周年を迎え、自分のインプラント施術歴もそれに近いものとなりましたが、まだまだ

自分の技術の未熟さを感じる場面によく出会います。

今後は基本に忠実に、「安心で安全」なインプラント治療を心がけ、早く当会の一員として恥ずかしくないような症例発表ができるようになりたいと思います。

今後の抱負

### 切磋琢磨して！

内野 文彦

(埼玉県 / 日本大学歯学部)

昨年の認定講習会では、新しい知識と今後一緒に勉強していける仲間との出会いが数多くありました。

自分一人で学ぶ事には限界がありますが、刺激を大いに受け今後も切磋琢磨して勉強していきたいと感じました。

新しい事を学ぶだけでなく、過去の歯科医療を学ぶ事により、よりエビデンスをもったより良い治療ができると思います。

今後は一人一人の患者さん達を大事にして、新しく学んだ知識を用いて、より良い治療ができるように頑張ります。

今後の抱負

### 日々精進して

梯 智陽

(滋賀県 / 九州大学歯学部)

昨年インプラント学会認定講習会を受けて、非常に自分の知識の幅が広がりました。インプラントの内容だけでなく、インプラントにいづくまでの基本的な所から学ぶことができました。講義をされる先生方は第一線でご活躍をされている方ばかりで、その中で今の自分に足りない技術や心構えなど知ることが出来ました。やはりここで得た知識、技術は自分の臨床に活かしてこそ意味がありますので、患者様の満足を第一に考えて、日々精進していきたいと思えます。

今後の抱負

## 症例をまとめる習慣を

河野 出

(千葉県 / 日本大学歯学部)

この原稿を書いている時は、全員発表会のスライド作りの真只中で、症例の選定をしながら、過去の症例を振り返り検討を進めていました。

4月には新人発表会があり、初めて当研究会で発表させていただきました。

私は今までインプラントに関する問題や疑問は蓄積する一方でしたが、それは人前で発表する機会が無かったことも一因だと思っています。症例をまとめる事で、自分の処置を客観的に評価し、問題点を明確にすることができます。この事は、次の症例をより良くする糧となります。

今後は、症例をまとめる習慣を身につけ、診断や処置がよりの確に行えるように訓練していこうと思っています。

今後の抱負

## 知識や技術・探求心を学ぶ

小城 哲治

(神奈川県 / 奥羽大学歯学部)

私は5年間の勤務医期間を経て、藤沢市で開業しています。

勤務時代の教えを基に歯科医療に邁進しております。さらに当研究会にて先生方の知識や技術・探求心を学ばせていただき、よりの確な治療にしたいと思います。その為に自分の症例を発表し、評価を受け技術を向上させていきたいと思っています。

宜しく願いいたします。

今後の抱負

## 初志を忘れぬように

篠崎 英之

(埼玉県 / 日本歯科大学新潟歯学部)

キラ星のごとき先生方にご指導賜った、認定講習会でのハイブローな日々。

日常に流されて初志を忘れてしまわぬよう、実践・精進してまいります。

今後の抱負

## インプラント専門医を目標に

関 康宏

(東京都 / 奥羽大学歯学部)

はじめまして、昨年インプラント認定講習会を受講させて頂いた、関 康宏と言います。

現在は、亀戸にある若井歯科医院の門をたたき、修行の毎日を送っています。

1年間の講習会もあつと言う間に終了し、正会員として今回インプラント臨床研究会に入会させて頂く事が出来ました。今回は今後の抱負についてと言う事ですが、インプラント専門医を目標とし、若井広明院長の様にインプラントマニアになれる様、努力していきたいと思っています。

今後とも各諸先生方の様に尊敬される医療人を目指して日々研鑽を積んでいく所存です。

また、昨年は1年間、長期に渡り御指導頂いた先生方、伊藤さんにこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

今後の抱負

## 日々の臨床を活かす

鳥羽山 剛

(神奈川県 / 神奈川歯科大学)

昨年度、日本口腔インプラント学会認定講習会の受講をさせていただきインプラント治療の有用性について、いろいろな先生の考え方や新しい情報を得ることができ、臨床を行う上で大切なテクニックや考え方への理解がより深まりました。また、本年度の新人発表会では大変貴重な発表の機会を頂き、とても有意義な時間を過ごさせていただき本当にありがとうございます。

今後、研修会や講演などには積極的に参加させていただき知識を深めるとともに、それらを日々の臨床にできる限りいかし精進していきたいと思っています。

今後の抱負

## 専門医の取得を第一の目標に

中原 達郎

(千葉県 / 九州歯科大学)

インプラントを歯科治療に用いる者として技術の研鑽はもちろん、基準となるレベル以上の知識も持ち合わせていなくてはならない。

この研究会にて多くの著名な先生方から様々な知識を得た。

しかし、とてもこれだけでは十分とはいえない。これからも絶えず技術と知識の向上、獲得に努めていかねばならぬ決意です。

そのために同期の皆さんと共に、認定医、そして専門医の取得をまず第一の目標として頑張っていきたいと思っています。

今後の抱負

## CISJ で学んだことは財産です

福留 淳一

(東京都 / 九州歯科大学)

昨年CISJで学んだことは多岐にわたり、新知識の獲得は言うに及ばず、知識の整理・統合に非常に役立ちました。

今後はこの財産を生かし自分の患者さんの幸せに繋げていきたいと思っています。

また微力ながら、私の症例などを通してCISJの発展に役立てるよう頑張りたいと思います。

今後もこの素晴らしい会が発展するよう願っております。

今後の抱負

## 認証医、そして専門医へ

藤本 俊輝

(千葉県 / 日本大学歯学部)

はじめまして、2011年度認定講習会を受講しました藤本俊輝です。

日本インプラント臨床研究会に入会して、とても勉強熱心な先生方に出会えてとても刺激を受けております。

歯科医師になって10年目、インプラント治療に携わって約2年とまだまだ経験も少ない若輩者ですが、しっかりと知識、理論的根拠を持ったインプラント医になれるよう頑張っていくつもりです。

まずは認証医、そして専門医とステップアップしていければと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

今後の抱負

## 患者さんの心身の充実へ

山田 剛司

(千葉県 / 日本大学松戸歯学部)

2011年、日本インプラント臨床研究会認定講習会を受講し、無事終了する事ができました。

講師の先生方の症例内容は高度で非常にレベルが高いものでした。

私はインプラントにおける経験がまだ浅い為、とても興味深く大変勉強になりました。

今後は患者さんに提供する治療がより広げられるように、一つでも多くのインプラント症例に積極的に取り組み、患者さんの食生活と健康維持のサポートができたと思います。

機能的・審美的・快適性に優れたインプラント治療を目指し、それにより口腔内から患者さんの心身の充実につながれば、医療に関わる者として幸せな事だと思います。

今後も日本インプラント臨床研究会の講習会等に参加しながら勉強を続けていきたいと思っています。

これからも宜しくお願い致します。

今後の抱負

## より深い知識と技量と経験を！

横山 研士郎

(千葉県 / 日本大学松戸歯学部)

「今後の抱負」と、「ニュースレター」原稿という宿題を頂いて、改めて、歯科インプラントについて今後どう関わっていけば良いのか？！と、自問自答させていただきました。

私は、独学に近いですが、摂食嚥下指導医もしております。摂食嚥下指導の見地は、人を一つの升として捕えて、適切な指導をしていかなければならない、広い視野が要求されます。その中で、インプラントは、欠損部補綴の手段の一つとしては、食塊形成期の重要なツールと考えられます。

そして、インプラントを極めるためには、我々がこれまで学んできたあらゆる歯学に精通することが要求され、食塊形成期の一断面に過ぎない行為ではありますが、深く、そしてもっともっと、より深い知識と技量と経験を要求される分野であります。

この一見、相反するクロス十字の関係と向き合う事を我々は社会から要求されているように感じております。

私の残された歯科医師人生の中では、到底、答えは出ませんが、理想的なクロスアーチが描けるように、歯科インプラントと向かい合っていきたいと思っております。

どうぞ、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。